

## 考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン

次回以降の予告

**第3回** 2019年9月10～11日 会場：奈良文化財研究所（奈良市）

考古学・文化財データサイエンス研究集会

「考古学ビッグデータの可能性と世界的潮流」

アメリカ・ワシントン大学の Ben Marwick 教授を招聘して、透明性・再現性を高めた考古学調査・研究のためのデータサイエンスについての講演と、R、Github を用いた実践についてのハンズオン・ワークショップを開催します。使用言語は英語ですが、逐次通訳が付きまゝす。本サロンの主題の本丸にあたる内容です。奮ってご参加ください（詳細は次ページ）

**第4回** 2019年10月を予定 会場未定

テーマ「博物館展示・普及と3D」

博物館における展示や普及活用における3Dモデルの利用について事例報告を中心に議論する予定です。サブライズ・イベントもあるかも。詳細は Peatix サイト (<https://3dmlm.peatix.com/>) から周知します。

第5回以降、以下のテーマを企画中です。

- ・計測機器・技術の変遷と特性
- ・考古学データの公開と流通
- ・幾何形態測定学ハンズオン

また本サロンでは、みなさんの経験を集合知として活用するために、フォトグラメトリの成功例・失敗例を募集します。当面は、カメラ位置や撮影環境によるアラインメントの成功・失敗、ミニマムな画像セットの事例を募集します。以下の情報と画像をお送りください。

- ・アラインメント状態のスクリーンキャプチャ画像（PNG形式） 1～複数枚

※対象がはっきりと映っていなくても構いません。事情により詳細を公表できな場合でも、以下の情報を添えて提供していただければと思います。

- ・対象の概要（遺構・遺物の種別概略、サイズ）
- ・撮影機材（カメラ、レンズ、照明、補助機材：三脚・ポール・撮影台等）
- ・使用画像枚数
- ・アラインメントの精度
- ・結果（成功・失敗等、失敗の場合はどのような問題があったか）

情報提供先：[asiansophia@gmail.com](mailto:asiansophia@gmail.com)（野口）